



富山市立奥田北小学校

ひ  
向

ま  
日

り  
葵

令和7年度  
学校だより

10月号



QRコード

## 自分を振り返る力

生徒指導主事 碓井 和美

9月26日、6年生が中心となって進める学校づくり会議が行われました。4月から先頭に立って活動を進めてきた6年生ですが、この学校づくり会議でも力を発揮しました。学校づくり会議はひまわり班の仲間で様々な課題について話し合います。話し合いがスムーズにいくように、6年生はスライドにまとめたり、話し合いの進め方について考えたりしました。6年生は、「ひまわり班活動のとき、1年生が分からない様子だったから、言い方を変えてみよう」「話す速さはどうかな。もっとゆっくり話してみよう」と自分の取組を振り返り、丁寧に準備をしてくれました。その成果が表れ、学校づくり会議を終えた6年生の表情からは、達成感が感じられ、さらに次への活動の意欲が高まっていました。



このように、自分の活動を客観的に振り返り、さらによくしていこうとする力は、学校生活だけでなく、日々の学習や生活の中にもつながる大切な力です。この力は一人一人異なります。

ある休み時間に、Bさんが話しかけてきて、「ねえ、先生。なんでみんなすぐに怒るんかね。」担任が「どうしたの」と聞き返すと、「ぼくはこんな性格だから、嫌なことがあってもすぐ怒らないようにしているから」と答えました。自分の気持ちを客観的に見て、突発的な気持ちに振り回されないように対処法を考えている発言でした。

いつも自分が思っていることをすぐ言葉にしているCさんが、自分の発言の仕方に気を付けて行動していることに気付きました。班での話し合いで、自分が家で考えてきた意見が通らず、班が険悪な雰囲気になったとき、Cさんはその場を離れ、静かな廊下に行きました。Cさんは、自問自答をしながらつぶやいていました。しばらくすると、また、班活動に参加したのです。これも自分自身で冷静に対処する仕方を身に付けている例でした。

自分のことだけ考えていると、「〇〇さんが悪い」「こうなったのは、～されたからだ」と周りの悪いところばかり見付けます。仲間とうまくいかなかったとき、客観的に自分を見つめる行動ができると、自己肯定感にもつながり、仲間のよいところを見付け、さらに自分の心と行動を高めることにもつながります。これからも、子供たち一人一人がよりよい成長が自己認識できるよう、励ましたり、支援したりしていきたいと思います。